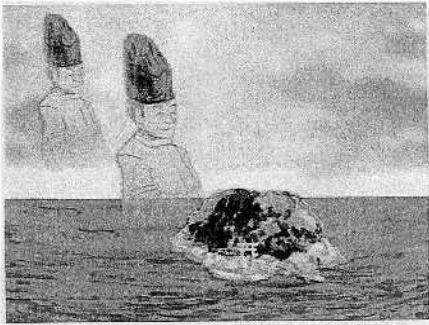


NPO法人ブックパートナー通信 こんにちはB.P.です

-NPO法人ブックパートナー通信-

第 10 号
発行日 平成24年11月 1日

発行所 NPO法人ブックパートナー
蒲郡市中央本町13-1



筒井さんにご指導をいただき、
台本のプログラムに沿って順番
にイラストと共に仕上げていき
ます。制作するのは、蒲郡に伝
わる竹島の民話をベースに、蒲
郡開発の祖といわれる藤原俊成
卿を取り上げた『竹島と俊成さ

蒲郡市立図書館

その名は「カラクリBooks」
デジタル絵本「竹島と俊成」
制作すすむしよ年明けに完成



民話を題材にしたデジタル絵
本の普及に取り組みデザイン広
告会社(名古屋市)の筒井さん
らが開発した「カラクリBOOK
KS」を蒲郡の民話で作りました。
よう。という呼びかけにこたえて、
このほど市立図書館が動きまし
ました。

ん』です。

完成したものは、タブレット
端末を使って見ることになりま
す。場面ごとに絵と文字、ナレ
ーションと音楽で組み立てられ、
画面を触ると絵が動く仕組みも
あり楽しみです。
とうわけて制作に関わるメ
ンバーは大変です。台本は図書

館の三浦さんが担当。絵は1ペ
ージ分に何枚も使われるという
ので、蒲郡高校美術部の女性陣
が引き受けてくれました。ナレ
ーションはじゅげむの会が、そ
してシステムの構築などは、愛
知工科大学プログラミング研究
会の皆さん方が協力して下さい
ました。
筒井さんは、西尾市のご出身
です。すでに西三河の各地
の民話を手がけられ、完成させ
ていて評判は上々で、学校など

蒲郡市立図書館職員が講師に 愛知県図書館主催「レファレンス研修会」 11月15日・県下公立図書館職員が集い開催

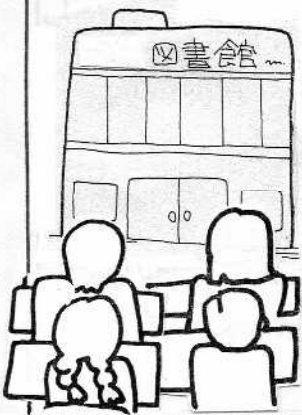


愛知県図書館が主催する県下
公立図書館職員の「レファレン
ス(参考事務)研修会」が、来
る11月15日に開催されます。
研修会では、国立国会図書館
が立ち上げた「レファレンス協
同データベース」の活用につい
て学び、職員の資質向上をめざ
すというものです。
今回の研修について愛知県図

書館から、現在、県下公立図書
館の中でこのデータベースに良
質なレファレンス事例を提供し
好評を得るなどし、優れた実績
を上げている蒲郡市立図書館に
白羽の矢を立て、研修会講師と
して、その取り組み状況を発表
するよう要請をいただきました。
この要請を受け、発表するこ
とになったのは、蒲郡市立図書

記 事
図書館利用者アンケート
集計結果まとめ... 2頁
ブックパートナー
初の県外研修を実施... 4頁
蒲郡高校で
「職業案内」講座
開かる... 6頁
で活用されているそうです。
蒲郡では初となる「電子書籍
にして提供するデジタル絵本」
この民話づくりは、十一月末の
完成をめざし順調にすすんでい
ます。ご期待下さい。

館を代表する三浦佳穂司書です。
公立図書館で働く自治体職員
が集い学ぶ場で、指定管理者た
るブックパートナー運営の図書
館が取り組んでいる「レファレ
ンスワーク」の現状と課題、カ
を入れるべき、その理念などま
でを語って行くこととなります。



図書館利用者アンケート

利用者の現状くっきり

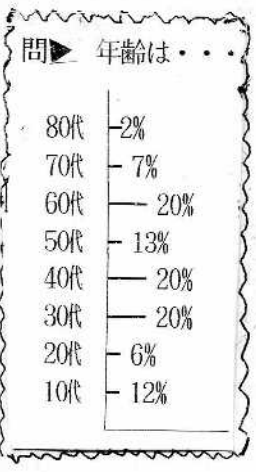
実施期間
8月1日~15日

この夏(8月1日~8月15日)に実施した「図書館利用者アンケート調査」は、1018人から回答を得ました。
アンケート結果から、図書館の利用状況や課題が浮き彫りになってきました。

この結果は、今後の図書館運営のなかで生かしていきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

図書館利用 2週間1回が 過半数を占める

問▼ 図書館をどれくらい利用しますか。
答→ 最も多いのが「2週間に1回」で、過半数の55%を占めました。次いで多いのが「週1回以上」「17%で、「月1回程度」



というのが16%でした。なお、「ほぼ毎日」というのは2%でした。

問▼ 滞在時間はどれくらいですか
答→ 「30分以上2時間」という回答が一番多い53%を占め、次いで「30分以内」というのが40%を占めています。

問▼ 来館された目的は何ですか。(複数回答)
答を順に示すと

「貸出・返却」 842人

「館内で読んだ」 85人
「学習・勉強」 68人
「調べもの」 61人
「展示などの見学」 28人
となっております。

図書館資料

「整理は見やすい?」 6割の人が 満足「やや満足」

問▼ 図書館資料について資料は見やすく整理されていますか。
「満足」 33%
「やや満足」 27%
「普通」 35%
「やや不満」 4%
「不満」 1%

問▼ 図書館資料について図書は充実していますか。

「満足」 16%
「やや満足」 25%
「普通」 30%
「やや不満」 22%
「不満」 7%

問▼ 職員への対応について親切な対応がされていますか。
「満足」 60%
「やや満足」 19%
「普通」 20%
「やや不満」 1%

問▼ 図書館資料について新聞や雑誌は充実していますか。
「満足」 17%
「やや満足」 20%
「普通」 44%
「やや不満」 13%
「不満」 3%
「無回答」 3%



問▼ 図書館資料について調べ物資料は充実していますか。

「満足」 15%
「やや満足」 16%
「普通」 54%
「やや不満」 6%
「不満」 1%
「無回答」 8%

会員募集中

BPブックパートナー

私たちの活動に賛同して下さる 会員を募集しています。

気軽にお問い合わせください。

☎443-0057 蒲郡市中央本町13-1 ☎090-3952-7680
携帯 [E-mail:book_patner@softbank.ne.jp]
PC [E-mail:gamagoori_book_patner@yahoo.co.jp]

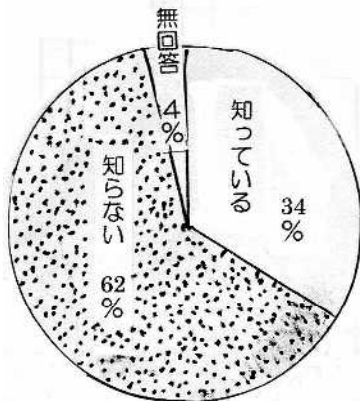


「満足」 38%
 「やや満足」 21%
 「普通」 30%
 「やや不満」 2%
 「不満」 1%
 「無回答」 8%

問▼「利用について」開館日数や開館時間は、使い良いですか。

「満足」 36%
 「やや満足」 20%
 「普通」 30%
 「やや不満」 3%
 「不満」 1%
 「無回答」 10%

「リクエストの対応」過半数が満足、やや満足と回答
 問▼「利用について」予約・リクエストに迅速に対応していますか。



問▼「図書館に指定管理者制度が導入されていることを」存知ですか。

「満足」 54%
 「やや満足」 18%
 「普通」 22%
 「不満」 2%
 「無回答」 4%

問▼「利用について」図書館は利用しやすい場所に位置していますか。

「満足」 41%
 「やや満足」 18%
 「普通」 27%
 「やや不満」 7%
 「不満」 2%
 「無回答」 5%

問▼「利用について」貸出期間、冊数の設定は適切ですか。

問29、蒲都市立図書館の管理運営をNPO法人ブックパートナーが行っていることを「存知でしたか。」
 答→「知らない」と答えた人が半数以上の61%もあり、「知っている」人は三人に一人の35%だけでした。

〇「意見(抜粋)」
 <施設について>
 ・施設が古い。耐震性など不安(子どもも利用するところなので) — 40代女性 —
 <マナーについて>
 ・1階の新聞、雑誌室で2、3冊膝に置いていた人がいますが、少し困りますね。
 — 70代女性 —
 <利用について>
 ・本の貸出の量を増やしてほしい。 — 30代女性 —



同じような内容の本に別々の分類番号がついて離れた書架に置かれている。(例：自転車の本が「機械」と「スポーツ」の書架にある) 見つけやすくする案内表示があった方がよい。 — 40代男性 —
 ・一長一短とは思いますが、絵本が作者ごとに配列されていると、書名で選ぶときに探しにくいです。 — 50代女性 —

「ご意見欄」次頁へ続く
 <対応について>
 ・借りた本が少し傷んだとき、事務的でキビシイ — 70代男性 —
 ・以前と比べ、職員への対応が親切になったと感じます。
 — 40代女性 —
 <資料について>
 ・もう少し本の種類を増やしてほしいです。雑誌も増やしてほしいです。 — 40代女性 —

図書館に「久しぶり希望出す」りにクイズに挑戦してみました。二つ分らないところがあったけれど、カンで!! 退職して4年目。クイズでポケ防止できるかな? 日曜日付は「読書」のページがお目当てで、じっくり読んでいます。読みたい本があれば「購入して…」ではなく、図書館にリクエストして、楽しく読ませてもらっています。
 (愛知・蒲都市) 〇〇〇〇子

「全国紙」に利用者から投書してくれました。
 聞いて 聞いて

ブックパートナー
県外研修実施
9月28日～29日

長距離バスで
稲城市立中央図書館と
いわむらかずお絵本の丘美術館を
訪ねました



ブックパートナーの研修を兼ねた親睦バスツアーが9月28日～29日に実施されました。

研修先は、東京都下の「稲城市立中央図書館」と栃木県にある「いわむらかずお絵本の丘美術館」の二ヶ所です。参加者は、牧原理事長はじめ十八名です。28日の朝、8時にバスは一路目的地に向け出発しました。

稲城市の図書館は
PFIで運営の
高機能図書館
でした

最初の訪問地の稲城市立中央図書館は、改築を機に市直営からPFI方式で、平成18年3月に竣工、運営されているという



ものです。

PFI方式というのは、建設から運営までを一括して民間業者に委ねるといっていわば「民間委託」方式です。委託による図書館運営をとる当ブックパートナーとしても参考になるものと思つてみました。

この図書館（中央館以外に市直営の分館が5館ある。中央館は、敷地一、九一三㎡、建物面積三四八四㎡）の特長は、体験館が併設され、学んだ知識を実体験できる場として活用されているといえます。

新しい図書館としてICTタグが採用され、「棚アンテナシステム」やロボット操作の「自動閉架書架」また、自動貸出機まで設置され、高機能で、それは驚きでした。

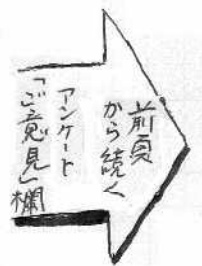
施設見学の後、館長から運営方針・重点施策、サービス内容と、それに関わる利用実績など

の説明を受け、懇談しました。充実した図書館サービスは、目を見張るばかりです。ボランティアの活用が積極的に図られ、細やかなサービスが為されています。その姿勢は大変参考になりました。



稲城市立中央図書館

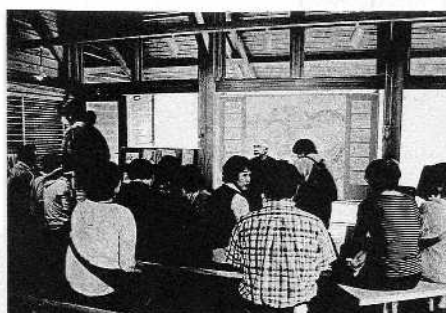
稲城を後にし、バスは栃木県に向けてすすみました。宿泊先は那須郡那珂川町のホテルです。



・手芸のコーナーなどの本が奥にしまつてあるものも多々ある。もっと表に出して、書庫資料利用の用紙に記入しなくても手に触れて見られるようにしてほしいです。

・読みたい本が全て読める（リクエスト等の利用で）ので、とても満足しています。――20代女性――

・購入図書がすくないのは、予算の関係上しかたないと思います。でも最近学習室も静かで、マナーが良くなったと思います。又、とても気軽に立ち寄れる図書館だと思えます。狭いながらも落ち着いた館になりましたね。――60代女性――



(5)

いわむらかずお
説明を受けよう



いむらかずお
絵本の丘美術館は
自然がいっぱいの中に
ありました

翌朝、皆でラジオ体操をして
スタートを切りました。29日の
研修先は、「いわむらかずお絵本
の丘美術館」です。蒲郡市立図
書館の「貸出券」にキャラクタ
ーを提供していただいている、
いわむらさんの美術館です。
バスに乗り山道を登りきると、
そこに絵本の丘美術館がありま
した。到着した私達をいわむら
さんが出迎えて下さり、そのま
ま、雑木林の中の広場に案内し
てくれました。

この場所は、自然派のいわむ
らさんがリスのために、胡桃
の木を植えたり、横木を施しリ
スが餌場に付き来しやすくした
場です。ここで、リスが自分だ
けでなく、子孫のために胡桃を
用意したりしているという生態
など熱っぽく語っていただきま
した。自然をフィールドにし、
作家活動を続けるいわむらさん
の真骨頂を見たいです。

美術館で感動
いわむらさん
のお話と
読み聞かせを
していただきました

美術館では、特別展示14ひきの
のねずみくんをテーマにした
「月夜の絵本展」が開催されて
いました。感動の原画の数々を
鑑賞させていただいた後、いわ
むらさんの活動のお話と、絵本
の読み聞かせをしていただきま
した。

東日本大震災の被害を受けた
美術館は休館を余儀なくされた

が、なんとか再開を果たしたも
の、福島の人のことを思う
と、気がかりなことがあると言
い、原発の脅威が残ったままの
現実があることを語られました。



読み聞かせは、いわむらさん
ご自身の作品『りんごがひとつ』
(銀河社)です。

主人公の「なっちゃん」が丘
の上でおやつりんごを落とす
てしまいます。転がっていくリ
ンゴを拾ってあげようと、うさ
ぎとリスが協力しあい、くまさ
んの協力も得てつかまえたリン
ゴ、皆で分け合いおいしく食べ
る仕事をいわむらさんが好演、
話の終わりは、皆でりんごの種
をまき、「きっと、まっかなりん
ごになるよ」としめくへるもの
です。

自然の営みのなかで生きる人

と動物の共演のお話。心があた
たかくなりました。いわむらさ
ん、素晴らしい。読み聞かせ
をありがとうございました。

美術館でゆったりとした時間
を過ごさせていただいた後、バ
スに乗り、絵本の丘での感動を
胸に抱きつつ、帰路につきまし
た。



「浦郡高校で職業案内講座」



「図書館からは「司書になるには」をテーマに参加

総合学科をもつ県立高校として堅実な歩みを続ける地元の浦郡高校で、去る10月29日、職業案内的な講座が開かれました。この講座は、第一線で働く現場のプロが講師となり、それぞれ

れが仕事内容を紹介する中で、生徒たちの職業選択のヒントにしてみようというものです。市立図書館職員もここに招かれ参加、「司書になるには」とい



「図書館の未来は...」 「ブックパートナーが」 「研修会開催」

11月30日、市図書館で

図書館の未来を見据えて論を展開する情報学の権威である学者をお招きして、このたびブックパートナーの研修会を開催することにになりました。

その講師は、国立情報学研究所名譽教授の内藤衛亮先生です。

貴重なお話が聴けます。質問等にも答えていただけるそうので楽しみです。ぜひご参加下さい。講演会は、左記の要領で開催されます。

とき 11月30日(金)

午後三時

ところ 市立図書館

演題 「これまでの図書館
これからの図書館」

講師 内藤衛亮 先生



う講座でお話させていただきました。

他に、「美容師」とか、「デザイナー」、「保育士」、また「看護師」や、「フライタルプランナー」などといった方々が講師として来られていました。なかには「オートリサー」という方もおられ多彩でした。

生徒達は各講座ごとに分れ、会場となる教室で受講。「図書館」の会場には、二回あった講座とも十数名の生徒がそれぞれ参加しました。

講師の、図書館司書は、パワーポイントを使って、仕事の内容を具体的に説明。本を知り、それを提供する職員のやりがいなどを伝えました。そして、専門的職務である司書の資格の取り方など、詳しく解説して頂きました。

12名の参加で開催

読み聞かせボランティア養成講座

絵本や子どもが好きな方、読み聞かせに興味のある方、読み聞かせ初心者の方に、絵本の魅力や読み聞かせの方法をわかりやすく紹介。

日時 : 10/18日(木)~11/8日(木)
(毎週木曜日 全4回)
10時~11時30分
場所 : 図書館 別館1F会議室
講師 : NPO法人ブックパートナー読み聞かせ事業部

